

令和 4 年 9 月 2 6 日

富里市長 五十嵐 博 文 様

富里市産業振興推進会議

会長 寒 郡 茂 樹

富里市産業振興ビジョン及び富里市観光振興アクションプランの  
令和 3 年度実績について

平成 3 0 年 3 月に策定された「富里市産業振興ビジョン」及び「富里市観光振興アクションプラン」の令和 3 年度実績報告を受け、富里市産業振興推進会議として、次のとおり意見を申し上げます。

【総括】

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により 9 月末まで緊急事態宣言等が断続的に発出されました。さらに年明け以降、オミクロン株による過去に経験のしたことのない感染の急拡大は、経済活動の維持すら困難になることも懸念される厳しいものでした。

「富里市産業振興ビジョン」及び「富里市観光振興アクションプラン」に掲げる施策に対する取組については、前述の影響を受けましたが、市独自の「とみさと元気アップ」商品券事業による地域経済の活性化や、新たに企業誘致専門員を配置したこと、さらに、市の貴重な歴史資源である「旧岩崎家末廣別邸」の公開や、市として初めてとなる観光・交流拠点施設「末廣農場」の工事着手に至ったことなどは、高く評価できるものです。

なお、個々の取組についての意見は、別添「令和 3 年度富里市産業振興ビジョン意見書」及び「令和 3 年度富里市観光振興アクションプラン意見書」のとおりです。

また、「第一次富里市産業振興ビジョン」及び「富里市観光振興アクションプラン」による評価は今回が最後となります。第一次ビジョン全体を通じた総括としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、目的達成のための事業が概ね実施されており、一定の成果が上がっていると認められます。

令和 4 年度からスタートする「第二次富里市産業振興ビジョン」は、第一次ビジョン策定の視点を継続するとともに、新たな視点として盛り込まれた「成

田空港の機能強化に伴う地域づくり」は、市の産業のみならず、発展的なまちづくりに欠かせない重要な視点となりますので、積極的な展開が必要であると考えます。また、令和４年６月にオープンした観光・交流拠点施設「末廣農場」を、市の農業・自然・歴史・文化の魅力を発信し、着地型観光の拠点として醸成を高めていく必要があると考えます。

そのような点を踏まえて、令和４年３月に策定された「第二次富里市産業振興ビジョン」を基本とし「富里市産業振興アクションプラン」に掲げられた施策を積極的に展開し、市の産業振興の推進が図れる計画となるよう進めていきたい。